

# RedMica (Redmine) 二要素認証手順

## 概要

RedMica 1.2.0. (Redmine では 4.2.x から実装予定) から二要素認証でログインをすることが可能になります。

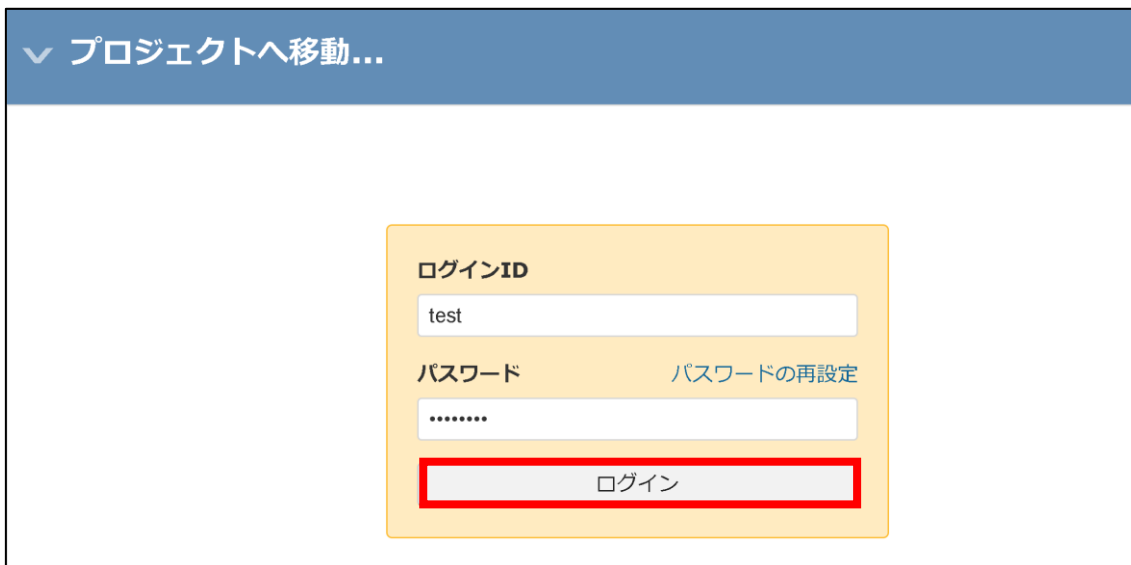
RedMica 入手先 : <https://github.com/redmica/redmica/releases/tag/v1.2.0>

## 手順

1. 管理者の設定画面の認証ページでも二要素認証の使用条件を指定可能  
必須、任意、無効から選択可能  
項目 2 - 5 は必須の場合のフローになります。

The screenshot shows the '設定' (Settings) page for authentication. The '認証が必要' (Authentication Required) dropdown is set to 'いいえ (匿名ユーザーに公開プロジェクトへのアクセス)'. The '自動ログイン' (Automatic Login) dropdown is set to '無効'. The 'ユーザーによるアカウント登録' (User Account Registration) dropdown is set to '手動でアカウントを有効化'. The 'アカウント登録画面でカスタムフィールドを表示' (Show custom fields on the account registration screen) checkbox is checked. The 'パスワードの最低必要文字数' (Minimum password length) is set to 8. The 'パスワードの必須文字種別' (Required password character types) checkboxes for '大文字', '小文字', '数字', and '記号' are all unchecked. The 'パスワードの有効期限' (Password validity period) dropdown is set to '無効'. The 'パスワード再設定機能の使用を許可' (Allow password reset functionality) checkbox is checked. The '二要素認証' (Two-Factor Authentication) dropdown is highlighted with a red box and set to '必須'. Below this dropdown, there is explanatory text: '無効 に設定すると全ユーザーの二要素認証を無効にし認証デバイスの関連づけも解除します。' and '必須 に設定するとユーザーに対し二要素認証の有効化を次回ログイン時に要求します。'

2. ID とパスワードでログインをします。



プロジェクトへ移動...

ログインID  
test

パスワード [パスワードの再設定](#)  
.....

ログイン

3. 二要素認証の登録画面が表示されます。



ホーム マイページ プロジェクト ヘルプ ログイン中: test 個人設定 ログアウト

Redmine 検索: プロジェクトへ移動...

システム管理者が二要素認証を有効にすることを求めています。

### 二要素認証の有効化

TOTPアプリ (Google認証システム, Authy, Duo Mobile など) でQRコードを読み取るかテキストキーを入力してください。その後、アプリに表示されているコードをこの下の入力欄に入力して二要素認証を有効にしてください。



テキストキー OP34 FEKD XFZY PWRA LCCB XCLB 5ETW 355G

コード

有効にする

4. Google 認証システムなどをスマートフォンにダウンロードして、QR コードを撮影するとコードが生成されるので、上記のコード欄に値を入力して、「有効にする」をクリックします。

5. 二要素認証が有効になります。

✓ 二要素認証が有効になりました。このアカウント用のバックアップコードの生成をお勧めします。

### 個人設定

メールアドレス パスワード変更

情報

名 \* test

姓 \* test

メールアドレス \* test@ankosoft.co.jp

言語 Japanese (日本語)

二要素認証 有効 (方式: 認証アプリ)  
無効化

バックアップコードの生成

保存

メール通知

ウォッチ中または自分が関係しているもの

優先度が high 以上のチケットについても通知

自分自身による変更の通知は不要

設定

メールアドレスを隠す

タイムゾーン

コメントの表示順 古い順

6. 必要に応じてバックアップコードを生成してください。「バックアップコードの生成」をクリックして、コードを入力後、送信をクリックします。

ホーム マイページ プロジェクト ヘルプ

# Redmine

## バックアップコードの生成

二要素認証の認証コードを入力してください。

コード

送信

7. 下図のようにバックアップコードが生成されますので、バックアップをしてください。

✔ バックアップコードを生成しました。

### 二要素認証のバックアップコード

二要素認証アプリが利用できないときは以下のコードを認証コードの代わりに使用してください。それぞれのコードは1回だけ使用できます。バックアップコードは印刷して安全な場所に保管しておくことをお勧めします。

8dc3 808f 8aa9	a747 8510 35af
17ad e0e5 dfad	1871 145c dfd0
2432 62d1 394e	6b33 3856 9fd5
8e78 cd49 f33c	7eb2 5f40 ec99
b010 a734 915b	4681 dd35 cdea

バックアップコード生成日時: 2021/01/22 05:13

8. 管理者が二要素認証を任意に設定した場合、ユーザーは ID とパスワードでログインをします。

ログイン後に、「個人設定」をクリックして「二要素認証を有効にする」をクリックします。

Redmine 個人設定

ログインID: test2  
作成日: 2021/01/22 05:16  
自分のアカウントを削除  
Atomアクセスキー  
Atomアクセスキーは1分以内に作成されました (リセット)

9. 以降のフローは項目 3 と同じになります。